

市議会だより

おおまち

169号

平成30年5月1日発行

3月定例会号

平成30年度一般会計予算(40号)可決
平成30年度特別会計予算(8会計)可決

●表紙の写真を募集します！

●みなさんの声をお寄せください！ Mail : g-dayori@city.omachi.nagano.jp



中綱湖

撮影者：遠藤鷹一さん(平・森)

3月定例会

一般会計

164億8900万円

平成30年度 予算を

しっかりチェックし、

可決

次に活かします

企業・特別会計

124億2007万円

経営健全化に全力!!

新改革プラン前倒し実施も

市立大町総合病院 56億1653万円計上



持続可能な市立大町総合病院に



2020年 第2回北アルプス国際芸術祭に

本年度 1970万円計上



5月中旬に撤去

基本計画作成業務委託

.....700万円

中間年イベント費...200万円

広告宣伝費.....250万円

外注スタッフ.....100万円

作品維持補修など...200万円

北アルプス エコパーク

8月より
本格稼働

3月下旬より可燃ごみ
焼却試運転開始
6億9726万円



準備が進むエコパーク

認定こども園

こまくさ幼稚園改修に
1億4575万円



子育て支援の充実を願う

国庫補助(1/2)を活用
市(1/4)・事業者(1/4)負担

持続可能な 地域づくり事業

美麻・八坂に
地域振興支援員(各1名)
557万円



支援員が配置される美麻支所

地域にお金がまわる しくみづくり

住宅リフォーム事業
3000万円



市民の活用を望みます

Pick up

議員が ただ 質した 平成30年度 予算

3月定例会は「予算議会」とも呼ばれ、平成30年度、大町市政運営のための予算審査が中心の議会となります。ここでは予算審査を実施した2常任委員会の質疑の主な内容をお知らせします。

広域連携で始まる「認知症総合支援事業」とは

Q 北アルプス広域連携自立圏①事業として新たに始まる認知症総合支援事業とは。

A 認知症初期集中支援チームを平成30年4月より地域包括支援センターに設置する。大北圏域内の認知症サポート医と連携し専門的な見地からアドバイスをし、できるだけ住み慣れた地域で住み続けられるよう、適切な医療や介護につなげていく。

用語解説 ①北アルプス連携自立圏

北アルプス広域内の各市町村(大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村)が抱えている共通の課題を解決するために、大町市と広域内の各町村とが連携協約を締結して事業を行う大北地域独自の広域連携。

負担金支出に関する追認

Q 行政側が違法でない主張するのであれば、司法の判断を受けるべきであり、この議案については自ら違法を認めることになるのではないかと。裁判過程の経過説明をしたうえで提案すべきではないか。

A 裁判過程において、平成27年9月議会での議決時点では、市長が実行委員長になることが決定しておらず、そのことについて、十分認識された上での議決ではないと判断される可能性



新年度より、2ルートで運行される「観光周遊バス ぐるりん号」(写真は現在のぐるりん号)

もあることから、双方代理について議会の追認を得たらどうかとの指摘、助言によるもので、違法性を認めているものではない。

■総務産業委員会としては、今回の議案審査に際し、十分議論する中で「今後、民法第108条に定める『双方代理の禁止』の適用について、疑義が生じることのないよう、適切な法的解釈に基づき、適正な事務手続きを進めるとともに、各事業の推進にあたっては、なお、慎重を期すよう求める」ことを決した。

観光客への対策は

Q 観光周遊バスぐるりん号について、コースの改善、観光ガイドを取り入れることなどが内容は。

A 現在マイクロバス1台で運行しているが、利用者から待ち時間が長く使にくいとの指摘もあり、新年度から10人乗りのジャンボタクシーにより、東・南コースの2路線での運行を予

定している。本年度試行的に観光ガイドが同乗したところ、非常に好評であったことから、夏休み期間など利用が増える期間に、観光ボランティアによる観光ガイドをお願いすることとしている。

有害鳥獣の対策を

Q 市内全域で有害鳥獣被害が、大きな問題となっている。どのような対策を講じていくか。



有効的な対策はないが、有害鳥獣被害を減らすために一つ一つの活動をしっかりと

「上原の湯」の指定管理料を大幅に上げる理由は

Q 今回の条例改正で指定管理料が上がり、入浴の利用料も

A 有害鳥獣対策については、有効な手段がないことから、追い払い、モンキードッグ、電気柵等、様々な施策を打ちながら総合的に取り組んでいる。現在、捕獲労力軽減のため、民間企業とタイアップし通報装置等の開発も共同で取り組んでいる。



指定管理者が決定した上原の湯

上がることになる理由は。

A 過去4年間の消耗品や光熱水費などの経費の平均値から算出したところ指定管理料の増加となった。利用料は一般が100円上がるが、65歳以上は250円のままである。

Q 営業時間を1時間短縮し、夜8時までとした理由は。

A 本来、条例では営業時間を夜8時までと定めており条例通りに戻したということ。また夜8時以降の利用者が非常に少なく安定経営のためにも効率化はやむを得ないと考えた。

大町病院の病床数と病院経営は今後どうなるか

Q 今後大町病院の病床数を現在の278床から199床へと削減する計画だが病院経営にともって199床は妥当と考えるか。

A 試算では収益は伸びると見込んでいる。また利用しやすくなる。199床にすることで地域包括ケア病床や外来でも加算が受けられる。



経営改善が迫られる大町総合病院

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。

市長就任3期目の評価と次期市長選への思いは



政友クラブ 岡 秀子が問う

総合計画を予算にどう反映か

Q 新年度予算に第5次総合計画の理念や市の将来像「未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち」がどう反映されるか。

A 未来を担う子ども達を育む。地域活動を支える人々を育む。地域経済・商工業の未来を担う人々を育む。この3つを重点施策とし、ハード事業からソフト事業、ひとづくりへの転換を図り予算化した。健全財政運営を今後どう堅持していくのか。

Q 限られた財源を効率的、効果的な配分をし、事業の選択と集中をより強化し、行政サービスの維持・向上を図る。

空気をのせたバス。このままで良いのでしょうか？



市民クラブ 中牧 盛登が問う

市民バス事業抜本的な改善策を

Q 市民バスふれあい号の運行については、これまで運行ルートや運行時刻の大幅な見直しを行ってきたが、利用者の減少に歯止めがきかない状況となっている。利用者増の具体的な対策はないのか。

A 新年度、公共交通の今後のあり方を研究する庁内の横断的な検討組織を立ち上げ、抜本的な改善策の検討を行う。市民バス事業は1億円を超える事業となっており、担当課は、毎日市民バスに乗り、利用者の声や運転手の声を直に聴き、現場から真のニーズを把握するべきではないか。

Q 極めて重要なことであるので、新年度から実施する。

A 新年度、バス停96ヶ所を新設する予算が計上されているが、利用者にとってわかりやすいバス停となるのか。

A 利用者にとってわかりやすいバス停表示となるように改善する。

経済波及効果が大きい、住宅リフォーム予算の増額を



日本共産党 平林 英市が問う

不登校の実態と原因及び対策は

Q 市内の中学校で不登校の生徒が多いと聞くが実態はどうか。

A 平成19年度は小中合わせて57人、在籍比率2.03%と県下19市で最も悪い状況だったが、24年度は21人まで減少した。その後、再び増加傾向となり、昨年度は36人、本年度は1月現在で52人と中学校中心に急激に増加しており、早急に抜本的な対策が必要な状況となっている。

Q 不登校の原因と具体的な対策はどう講じているのか。

A 学業不振や怠学、交友関係、家庭事情や成育歴、疾病等が複雑に関係している。

Q 市長就任3期への評価および、次期市長選への思いはどうか。

A 市民参加と協働の理念のもと、市民が住んでよかったと思うまちづくりを目指して市政運営に当たっている。進退については、なお熟慮を尽くす。

学校現場の働き方改革の進め方は

Q 学校現場における業務改善事業「働き方改革」の進め方は。

A 教職員自ら勤務時間を意識した働き方を推進するため、ICカードを使った出退勤管理システムを全校に導入した。教職員の時間外勤務時間を1カ月45時間以下、多忙期上限80時間以下を目指している。今後、部活動指導員の配置、学校徴収金業務の改善で、公会計に位置付けていく。

ひとが輝く補助事業の成果は

Q ひとが輝くまちづくり事業の補助金を受けた団体の活動は、多くの市民へ広がりが見られない。補助を受けた団体活動のためだけになっているのではないのか。

A 市民に広がりが出ているかの調査は重要であることから実施すべく検討する。

住宅リフォームの予算拡大を

Q 当初は住宅リフォーム促進事業として発定。補助額6600万円余に対して、約7倍の経済効果があったと市も評価している。平成27年度から住宅性能向上リフォーム事業に名称が変わって「手続きも複雑になり、利用しにくい」との声がある。予算も半額以下の3000万円になった。市民要望に応じて追加の補正予算を組む考えはないか。

A 年度途中で補正を行う予定はない。



大町市5次総合計画実施2年目の30年度は様々な分野で活躍する人材・ひとづくりへ



市民バス「循環線」ふれあい号



住宅性能向上リフォーム助成で風雪を防ぐ玄関の改築を実施した住宅

一問一答形式で質問する議員1人の持ち時間は20分以内と決められており、行政側の答弁を含めると、およそ50分程度となります。

次回芸術祭は一部の声だけでなく市民の声の反映を



虹と緑の会 **大和 幸久**が問う

第2回芸術祭は白紙から再考を

芸術祭実行委員会5910万円無申告

Q 28年度芸術祭実行委員会の決算書の収入は1億3370万円だが確定申告では7460万円の申告のみで5910万円は申告されていない。

A また、実行委員会の構成者は、実行委員会に対して1円の負担もしておらず、実行委員会事業費7627万円余や、市職員の実行委員会業務についた費用1億2937万円余は益金として申告されなければならないが、していない。修正申告するかがうがう。

30年度予算書からハザードマップ、芸術祭他を聞く



堀 堅一が問う

大町病院の経営改善を聴き質す

Q 大町病院の経費削減の一環として、管理職手当の削減が実施されている

がその内容は、院長が4割削減、副院長と事務長は3割削減、診療部長、看護部長は2割削減が、まさにこの2月より実行されている。また、業務改善にも取り組み、超過勤務手当の削減をはじめ、外来医事務の直営化による委託料の削減や、単価交渉による診療材料費の削減など、新改革プランにより、ところどころではあるが経費削減の努力が、垣間見えて僅かながらだが、経営改善に向けて結果が出つつあることに期待をする。現在の278床のベッド数を

子どもたちのためにも教職員のためにも良い改革を！



政友クラブ **降旗 達也**が問う

子ども達のためになる改革を

「学校における働き方改革が始まっているが、経過と今後の見通しは。」

Q ICカードを利用した出勤管理を始めているが、設置前後の変化は。

A 適切な勤務時間を把握する「手段」としてICカードを用いた出勤管理を行い、勤務時間を「可視化」し教職員一人ひとりが、自らの勤務時間を意識した働き方への転換を促すこととしている。

Q 教職員の労働時間は何時間か。ICカード導入後、時間の変化はどうか。
A 1週間38時間45分、1日7時間45分を超えない範囲と規定されている。

A 税理士と相談して申告している。税法に抵触していれば修正申告する。

芸術祭・作品制作費の総額と確認方法は

Q フラム氏の会社から作家に支払われた29年度分の作品制作費はいくらで作家数は何人か。支払い金額の確認方法は。
A 作家への支払いは3228万円。文化庁補助金の実績報告書で確認する。

芸術祭の宿泊客数は前年同月より減少

Q 市長は長野経済研究所の宿泊客純増は妥当というが、6・7月の宿泊入湯税客は672人減少し、1万8440人増加したとする実体が確認できない。長野経済研究所による説明会を開催すべきだ。
A 説明会は、様々な観点から検討したい。



維持管理費は今年1年で200万円かかる

削減して199床にする事を検討しているとの報告があった。なぜ199床にするのか、その意味を分かりやすく説明を願いたい。

A 過去3年間の入院患者数の平均は170床くらいである。人口減少を考慮しても、今まで通りの診療体制が維持できる。

199床にすることにより、診療報酬では大町病院にかかりつけ医の機能加わり、病状を気軽に相談できる病院として、診療報酬上においてより評価され、外来診療、入院の施設基準などについても優遇措置が受けられ、経営的にも、外来収益や地域包括ケア病床入院料の増加が見込め約3000万円の収益の増加が見込まれる。さらに検討を加えて上程をする。



平成32年の黒字化の約束を果たしてもらうためにも、皆様の協力をお願いいたします

導入後の勤務時間については、開始間もないことと過去の正確なデータ等が存在しないため現時点では確認できない。

Q 勤務・退勤時間を守るためタイムカードを押し、再び仕事に戻るという話を聞いたが、市のシステムはどう対応しているか。また、教職員に支給の「教職員調整額」も長時間勤務の原因ではないか。

A 教職員の業務は学校内で完結することばかりでないため、実際に要した時間を管理職に報告し、後日、データを修正する。公立学校の教員は、時間外労働の割増賃金が適用除外となっている。このような現行制度が、勤務時間の実態把握ができない一因との指摘もあり文科省で検討が進められていると聞いている。



改革を通じ、児童生徒との時間や教職員の方の時間が、今迄以上に持てるよう期待します

質問しようとする議員は、「何について、どんな問題意識で」質問するのかを予め通告しています。これは、行政側から噛みあった答弁(公式の見解)を得るためです。



実事業費に併せて受益者負担金も見直すべきでは

市民クラブ 大塚 富義が問う

下水道の市民負担は適正か

- Q** 受益者負担金は、どのような計算根拠か。
- A** 総事業費から国庫補助と起債を除いたものである。
- Q** 大町公共の当初計画の事業費と現在までに要した事業費はいくらか。
- A** 当初計画の建設事業費は359億円。現在までに要した建設事業費は197億3千万円である。
- Q** 当初計画で計算した受益者負担金総額はいくらか。現在はいくらか。
- A** 当初計画の受益者負担金総額は24億円である。現在は20億8千万円である。



無駄な出費を抑え、人を育てるお金の使い方に

虹と緑の会 栗林 学が問う

泉地区の悪臭は抑えられるか

- Q** 敷地境界で、臭気指数15を超えている日がある。この対策を伺う。
- A** 臭気対策は事業者がアドバイザーを入れて対応している。市職員が事業場へ赴き、作業内容や臭気対策の状況を確認し、廃棄物の性状と醗酵の状態などチェックし、臭気対策を徹底するよう強く要請している。
- Q** 今後の事業者に対する、監視・指導の具体的な対応策は。
- A** 県の環境課や泉地区協定書の中で、体制の強化を図り、搬入量の確認等を県と確認しながら対応している。新たな問題が出れば対応していく。



いじめ撲滅に向け、できることは何でもしてほしい

公明党 太田 昭司が問う

いじめから子どもたちを守れ

- Q** 小中学生のいじめ対策として、匿名で学校にいじめを通報できるアプリ「ストップ・イット」を導入してはどうか。
- A** ストップ・イットなどのアプリは、匿名で相談や通報ができ、速報性を持つとともに情報を収集する手段として有効と考える。今後、情報管理の信頼性などを総合的に判断し、導入を検討していく。
- Q** 自転車の観光振興のために、街の複数力所に設けられたサイクルポート(自転車置場)で自転車を借りたり返却ができるシエアサイクルの導入を提言する。
- A** 交通手段の選択肢の幅を広げ、利便性を向上させる意味でも、芸術祭等、今後の観光誘客全体から見て検討に値する。今後シエアサイクルの導入について観光・交通の関係者と具体的な検討を進める。
- Q** 大町市周辺において自転車のイベントが増えている。安全な自転車走行のために道路補修や段差の解消など適切な維持管理ができていくのか。
- A** 重要と考える。今後、国際芸術祭や大きな自転車イベントにより市外からの多くの来訪者も見込まれる。これまでに以上に道路の段差解消、路面整備を実施し、清掃や除草作業の実施時期や場所等を見極め、適切な維持管理に努めたい。



現在稼働中の浄水センター。当初予定していた事業は終了しているはずだが…

- Q** 当初計画の事業費が359億円で、実際にかかった事業費が197億円なら大幅な差がある。受益者負担金は取りすぎになる。見直すべきではないか。
- A** 下水道事業がスタートの時に理由があつて条例で定めたものである。使用料について伺う。一般会計から下水道会計へは、操出基準とおりに全額繰出しているか。
- A** 所要額全額を繰り出している。
- Q** 下水道事業では、一般会計から繰出しされている全額を使用料対象経費から控除しているか。
- A** 交付税措置されている額と高資本費対策に要する額は控除している。



利用者は年間7万人の上原の湯

- Q** 今回の指定管理者の応募は2者あつたが、選定理由は何か。
- A** 今までの実績・地域の方を巻き込んだ自主事業・ケータリングなどの自主事業の提案から選定した。
- Q** 指定管理料が250万円ほど上がり500万円となる。営業終了時間も1時間短縮され、サービスの低下につながる。施設を直営にし、地元の経営者を育てることで経費も削減できると考えるが。
- A** 市としては、手続きにより指定管理制度をとっている。経営状況は平均年間500万円のマイナスであった。地域にやる気のある人がいれば手をあげていただきたい。



近年、自転車イベントの開催で多くの自転車愛好家がおまちへ

用語解説 ②ストップ・イット

いじめなどを受けた人・目撃した人が、匿名で学校等に報告・相談ができるサービス。スマートフォンやタブレットに専用のアプリをインストールして使用するか、または専用のホームページから報告・相談もできる。



過疎対策についてと地域振興支援員の役割と具体的な任務は

政友クラブ 佐藤 浩樹が問う

何をやるの 地域振興支援員

Q 美麻・八坂両地区の過疎対策をどのように進めるか。

A 合併以前から両地区とも過疎地域であったので継続して過疎法が適用されている。そこで地域住民と知恵を出し合いハード、ソフト両面から、効果に結びつく実効性のある取り組みを進めていく。

Q 地域振興支援員の目的と具体的な任務は何か。

A 将来に向けて住み慣れた地域で暮らし続けられる持続可能な地域づくりを進めていくためのソフト対策の一環として新年度新たに両支所にそれぞれ1名の地

域振興支援員を配置することにした。

両地区それぞれ地域住民が中心となっている。自主的な地域づくりの2つの組織事務局の一端を担いながら、会の活動をより充実させることにより地域の活性化に結び付ける。2つ目は地域集落の現状を把握し協働で課題解決に取り組むもの。机に座っているだけでなく積極的に集落を訪問し課題を把握したうえで活性化対策の橋渡し役を目指していく。

Q 創業希望者やUターン希望者に対する支援策は。

A 平成28年度から年1回、5日間の日程で創業に対する知識を習得するための創業塾を開催している。



人気の定住促進住宅(美麻地区)



頑固なまでにこだわりを持つ農業者を育成せよ

政友クラブ 二條 孝夫が問う

農業を大町の 一大産業に

Q 大町の特色ある農業の振興とその他にどんな支援が出来るのか。

A 当市の農業の特色は、豊かで清冽な北アルプスの水に育まれる水稲と、朝晩の気温差や標高に適した、果樹・野菜の栽培である。米プラスαとして、大町の特色ある農産物の品質向上と生産の安定化に努め、他の生産地との差別化を図り収益性の高い園芸品目等の導入による経営の複合化や生産コストの削減等への取り組みを支援する。

Q 若手農業者や新規農業者の育成が最重要だが、市としての取り組みは。

A 若手農家で構成される「アルプスファーマーズクラブ」や他の地域や他産業との交流活動している「パルネット長野(長野県農業青年クラブ)」など若手農業従事者のネットワークへの参加支援を行う。農業次世代人材投資事業の認定を受けた農業者に対し、経営、技術、農地、営農資金など担当者による支援をし、無利息の青年等就業資金など農業制度資金活用などの支援をしていく。

Q 農業に関するワンストップ窓口を農業支援センターに開設してはどうか。

A 様々な制度を担当する組織が多岐にわたり困難ではあるが、農業に関する情報発信を一元化すべく努力する。

その他の質問
「県との連携の重要性」について。



農業は各産業の要。農業の六次産業化に向けノウハウを持つ県との連携は欠かせない

議会だより編集委員会

議会だより編集委員会では2月8日から9日まで行政視察を行いました。主な内容をお知らせします。

静岡県菊川市。市議会だより編集委員会

リニューアル目的を
あきらかにして取り組む

議会だよりは議会の活動を市民に伝え、市民参加や市民自治につなげる最も身近なツールと位置付け、親しみやすく、議会や議員と市民との距離をなくして開かれた議会をめざすことを目的に編集しています。

市民へのアンケート調査を実施

平成27年市役所ロビーでアンケート調査を実施し、これをリニューアルに反映しました。



菊川市みどころフォトコンテスト入賞作品から季節に合ったものを表紙に採用

行政視察の成果をお知らせします

議会広報。基礎講座を学ぶ

名古屋市内にて地方自治総合研究所の吉村潔氏の講習を受けました。議会広報7つのポイントを基本にしなが、多くの先進事例を学ぶことができました。

7つのポイント

- ① 議会の「存在感」を示す広報
- ② 質疑などのプロセスを公開
- ③ 「読者目線」でわかりやすく
- ④ 手がのび「読みたくなる」工夫
- ⑤ 結果報告で終わらない広報
- ⑥ 住民参加の「協働広報」に
- ⑦ 議会情報「入手ルート」の多様化



住民が読みたくなる議会広報紙づくりの基礎講座を受講

平成30年3月定例会 提出案件の審議結果

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案 件	日本共産		虹と緑の会		市民クラブ		政友クラブ		無 無 公 無		結 果						
		松島吉子	平林英市	栗林幸学	大和幸久	大庭富義	中牧盛登	降旗達也	佐藤浩樹	岡野秀子	勝野富男		二條孝夫	小林治男	堀堅一	神社正幸	太田昭司	高橋正
議案第25号	大町市コミュニティセンターの指定管理者の指定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第33号	平成29年度大町市一般会計補正予算(第10号)	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	平成30年度大町市一般会計予算	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	平成30年度大町市後期高齢者医療特別会計予算	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第46号	平成30年度大町市公共下水道事業会計予算	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	負担金支出に関する追認について	欠	●	●	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号	負担金支出に関する追認について	欠	●	●	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	大町市国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例制定について	席	●	●	○	○	○	○	席	○	長	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第4号	憲法第9条改正と緊急事態条項を含む改憲案の国会発議に反対する意見書提出について	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第5号	国に対して生活保護費引き下げ中止を求める意見書提出について	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第6号	北アルプス国際芸術祭経済効果分析調査業務報告書の説明会の開催を求める陳情	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第7号	山岳文化都市宣言の具体化に関する陳情	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択

◇全会一致で可決・承認・同意・採択された案件

議案番号等	案 件	結果	議案番号等	案 件	結果
議案第2~20号	大町市農業委員会委員の任命について	同意	議案第35号	平成29年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第21号	大町市及び池田町における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	可決	議案第36号	平成29年度大町市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第22号	大町市及び松川村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	可決	議案第37号	平成29年度大町市温泉引湯事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第23号	大町市及び白馬村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	可決	議案第38号	平成29年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第24号	大町市及び小谷村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	可決	議案第39号	平成29年度大町市病院事業会計補正予算(第5号)	可決
議案第26号	市道路線の認定について	可決	議案第41号	平成30年度大町市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第27号	大町市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	議案第43号	平成30年度大町市公営簡易水道事業特別会計予算	可決
議案第28号	大町市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決	議案第44号	平成30年度大町市水道事業会計予算	可決
議案第29号	大町市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	議案第45号	平成30年度大町市温泉引湯事業会計予算	可決
議案第30号	大町市企業立地の促進等による産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	議案第47号	平成30年度大町市農業集落排水事業会計予算	可決
議案第31号	大町市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	可決	議案第48号	平成30年度大町市病院事業会計予算	可決
議案第32号	大町市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	議案第49号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第34号	平成29年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	議案第52号	大町市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	可決
			議案第53号	大町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	可決
			陳情第1号	長野県指定無形民俗文化財「若一王子神社やぶさめ」に係る財政的支援について	採択
			陳情第2号	有害鳥獣被害対策について	採択
			陳情第3号	有害鳥獣被害対策について	採択



★point★
 討論は、「反対」か「賛成」かの議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員を自分の意見に賛同を求めるために行われます。
 なぜ可決なのか、なぜ否決なのか・・・議会の選択(議決)理由の一つとしてご覧ください。(要約してお伝えしています)

賛成

新年度予算は、第5次総合計画の市の将来像実現のために、ひとを育む多くの新規事業、増強事業が計上されている。計画の着実な推進に期待し、賛成である。

第5次総合計画の将来像の実現に向け、特に、ひとを育むための多くの新規、増強事業を積極的に計上されており評価に値する。

小林

反対

国際芸術祭の経済波及効果の検証に疑義がある。市の負担金支出も、運営体制と予算執行に違法を指摘される点があった。

第2回国際芸術祭の開催を、庁議と実行委員会とで一方的に決定して市民に押し付ける手法は、独断専横の行政手法で容認できない。

平林

平成30年度
一般会計予算
(議案第40号)

賛成

当該実行委員会等とともに市の施策推進に必要な組織であり、民法上、疑義があるとすれば、議会が承認すれば問題ない。

市議会としても、芸術祭は必要な事業であると認めているので、事務的に疑義があれば解消し、次期開催に向けて取り組むべきだ。

中牧

反対

双方代理の違法性を議会の追認で解消を図る議案だが、市長は、「疑義はあるが違法性はない」という見解であり、議案提案根拠がない。

大和

市長の双方代理について
議会の追認を求める
(議案第50・51号)

賛成

今の憲法は時代に合わせて変えるべきで、何も議論をしないうちで反対すべきではない。常識ある国会での議論を見守りたい。中牧

自衛隊の存在など現憲法では対応できない状況。だからこそ憲法のあり方の議論が大事であり、発議さえも反対するのは民主主義の根幹を脅かす。

二條

反対

日本の侵略戦争を肯定・美化する「靖国派」の代表格安倍首相がいう「国の形を変える」とは「戦争する国造り」で容認できない。

大和

憲法9条改正の改憲案の
国会発議に反対する意見
書提出を求める
(陳情第4号)

みんなのひろば

Vol.1



議員が市民の皆様の声取材して、記載するひろばです。
第1回は市内小学校の6人を訪ねました。

市民のみなさん
取材にご協力
お願いします!



- ①大町市のよいところは？
- ②将来の夢は何ですか？
- ③今がんばっていることは？

おか の つばさ
岡野翼さん 八坂小6年生



よいところは、自然が多く、リスなど野生動物がいて楽しい。将来は、きちんとまじめに仕事をがんばりたいです。がんばっていることは、6年生になるので、勉強や児童会活動です。

いとう まほ
伊藤真帆さん 北小6年生



よいところは、自然がたくさんあって、生き物が住みやすいところです。将来の夢は、自然の生き物・動物に関わる仕事がしたいです。がんばっていることは、総合の時間などで、大町の自然や生き物などをみんなにアピールしています。

あら い はる き
荒井春樹さん 南小6年生



大町は空気や水がきれいで、生き物も多く自然が豊か。テニスで友達と絆を深めることと、プロテニスプレーヤーになって世界で活躍したい。

いとう あおと
伊藤蒼都さん 東小6年生



よいところは、みんなが笑顔で、自然がきれいなところ。将来は、プロサッカー選手になりたい。がんばっていることは、金管バンドと家庭学習です。

4月から最上級生
ランドセルも
小さくなりました



にしだ
西田せろりさん 美麻小中6年生



よいところは、自然豊かで遊べることと、山菜がおいしいところです。将来は、保育士になりたいと思っています。山村留学で太鼓や踊りを発表に向けてがんばっています。

本会議の 生中継

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。
録画・再放送もご覧いただけます。

大町市議会 議会中継

あしがき

平昌オリンピックが閉幕し、日本人の活躍で多くのメダルを獲得、感動をいただきました。活躍の裏には選手のチャレンジ精神、人々の支えがあったと報道されています。
大町市も多くの課題や計画があり、行政と市民の協働の力とチャレンジ精神でよりよい大町を築いていきます。
(公社)

次回 6月定例会は 5月23日 開会予定です



傍聴席は60席

傍聴をご希望の方は議会棟2階事務局までお越しください

傍聴しませんか
皆様のお越しを
お待ちしております

